

愛媛日産の取り組みが、愛媛の未来を共創・創造するプロジェクト「itv Blue シリーズ」でEVを活用した新しい暮らしの形「エネルギーの自給自足」として紹介されました。

番組では、松山市内のモデルハウスにて、EVと住宅をつなぐ「V2H (Vehicle to Home)」システムを紹介。太陽光発電でつくった電気をEVに蓄え、夜間や雨天時にはその電力を家庭で使用することで、エネルギーの自給自足を実現する仕組みです。発電・消費・蓄電の状況はモニターで可視化され、日常の電力を効率的に管理できることも大きな特長です。



さらに、この仕組みは災害時にも大きな価値を発揮します。停電時にはEVから家庭へ電力を供給することで、照明やエアコン、テレビなどを通常通り使用することが可能となります。一般的な家庭であれば、フル充電のEVで3日から4日分の電力を賄えるケースもあり、大きな安心につながります。

従来の非常用電源と異なり、V2Hを活用することで複数の大型家電を同時に使用できるため、停電時でも日常に近い生活を維持できる点が評価されています。

また、太陽光発電と組み合わせることで電力購入量を抑え、今後の電気代上昇への対策としても注目されています。

導入には設備・工事を含め一定の費用が必要となるものの、国や自治体の補助制度により負担軽減も進んでおり、今後さらなる普及が期待されています。

愛媛日産は、EVを「走るためのクルマ」だけでなく「暮らしを支えるエネルギー」として活用する新しい価値を提案し、環境性・経済性・防災性を兼ね備えた持続可能な社会の実現に向け、引き続き取り組んでまいります。

